

## 令和7年度 学校自己評価

本校では、「豊かな伝え合いを通して深く考える子どもの育成」を学校の中心目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。教職員が協力し合いながら、学習、生活、安全、健康、情報活用などの各面で、子どもたちの健やかな成長を支えてきました。

**学習面**では、子どもたちが自分の考えをもち、友達と伝え合いながら学ぶ授業づくりを大切にしてきました。話し合いや発表の場面を多く取り入れることで、考える力や表現する力を育てる取組が進んでいます。また、思いやりの心や自分のよさに気付く指導も、日々の学級経営の中で意識して行っています。一方で、基礎的・基本的な学習の定着や読書活動については、学年や個人差もあるため、今後さらに工夫していく必要があると考えています。

**校内研究や研修**については、授業を見合ったり意見を交流したりする機会を通して、教師一人ひとりの授業づくりの力を高めてきました。探究的な学びや、持続可能な社会を考える学習にも取り組んでいます。より多くの教職員が関わり合いながら学びを深められるよう、今後は研究の進め方についても改善を重ねていきます。

**生活面・安全面**では、学校での過ごし方やルールについて、子どもたち自身が考え、守ろうとする姿勢を育てています。あいさつを大切にしている取組も継続して行っており、学校全体に少しずつ広がりが見られます。下校時の約束や持ち物のきまりなどについては、保護者の方とも連携しながら、繰り返し指導を行ってまいります。

**体力・健康づくり**の面では、体育の授業や休み時間を通して、体を動かす機会を大切にしています。運動が得意な子どもそうでない子ども、楽しみながら参加できる活動をさらに工夫し、年間を通して体力づくりに取り組んでいきたいと考えています。

**情報教育(ICT活用)**については、タブレット端末などを活用した学習が広がり、学び方の幅が広がっています。目的に応じて、手書きとデジタルを使い分けることの大切さも指導しながら、子どもたちにとって効果的な活用を進めています。個人情報の取扱いについても、引き続き十分に配慮してまいります。

**学校運営や環境面**では、多様な考え方や立場を尊重する視点を大切にしながら、学校生活の在り方を見直しています。また、教室環境や施設設備についても、子どもたちが安心して落ち着いて過ごせるよう、改善に努めています。保護者の皆様との連携については、保護者会や個人面談の方法を工夫し、負担軽減と丁寧な情報共有の両立を図っています。

**働き方の面**では、業務の見直しや効率化を進め、教職員が子どもたちと向き合う時間を大切にできるよう取り組んでいます。

このように、本校の教育活動は多くの成果が見られる一方で、さらによりよい学校にしていくための課題も明らかになっています。今後も、教職員・保護者・地域の皆様と力を合わせながら、子どもたち一人ひとりが安心して成長できる学校づくりを進めてまいります。